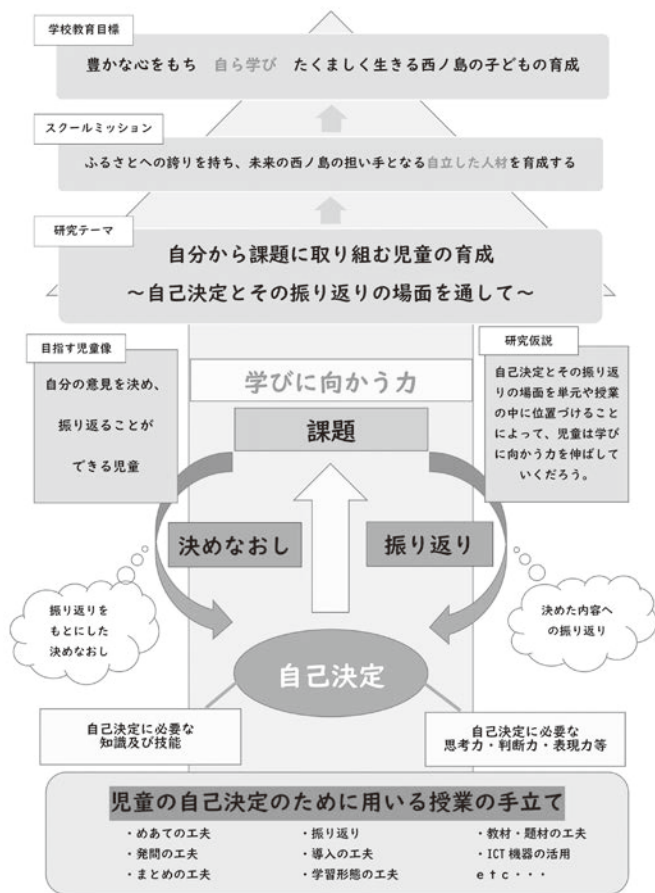


からこんにちは！

小学校

本年度の校内研究

小学校では新しい学習指導要領が実施されて3年目になりました。この学習指導要領には、先行きの見えない社会状況の中で、児童自らが未来を切り開いていくための資質や能力を身につけられるように教育活動を実践していくことが求められています。これまでの知識や学習内容の習得を目指す学習から、身に着けた知識や技能をどのように使っていくかということが重要になりました。そこで西ノ島小学校では、次に示す通りとし、



▲ 校内研究授業の様子

す。昨年度より校内で取り組んでいます。

★研究テーマ（主題）

「自分から課題に取り組む児童の育成～自己決定とその振り返りを通して～」

★研究の目的

児童が学びに向かう力や学習に主体的に取り組む態度を身に付けていくためには授業や単元の中でどのような手立てが有効なのか明らかにする。

今年度は昨年度の研究の2年目です。昨年度の研究を経て、児童の学びに向かう意識が高まっていることが児童アンケートにより明らかになりました。今年度は授業の中でどんな手立てが有効なのか、細かく検証をしていく一年間になります。各学年の実践を互いに公開・参観する機会を設け、教職員全員で切磋琢磨し合いながら、研究に取り組んでいきます。

中学校

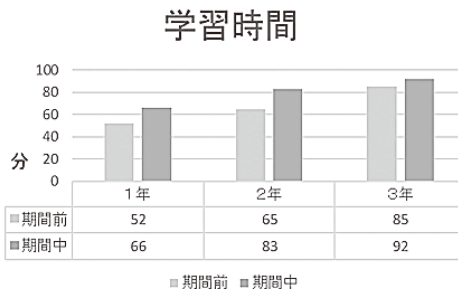
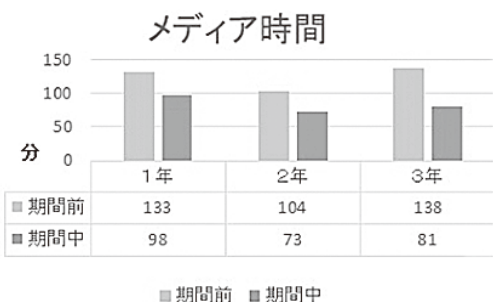
MD&SUの取組

5月24日～31日に実施したMD&SU（メディアダウン・スタディアップ）週間の結果を紹介します。この取組は、生徒自身が普段の生活を見直し、メディア接触時間を減少させ、家庭学習時間の充実を図ることをねらいとしています。

★方法

「メディア時間」「学習時間」「起床・就寝時刻」の目標を立て、毎朝生徒が記入する「健康チェックカード」を活用しながら評価をしました。

★結果





西ノ島小中学校

メディア時間と学習時間に着目し、実施期間前と期間中の各学年平均時間を比較しました。どの学年も期間前と期間中を比較すると、期間中はメディアダウン・スタディアップできていることがわかります。実施後の生徒の振り返りには、「自学（宿題）を少し多くしたことでいつもより学習時間を増やすことができた」「時計を見ながらメディア時間を減らすことができた」などの感想がありました。しかし、「最後の方は気が緩んでしまった」という感想もあったり、取組に対しての意識が低く一日3時間以上メディアに触れて課題を後回しにしたり、就寝時刻が遅くなったりする生徒もいました。保護者の方からも「もう少しメディアの時間を減らしてほしい」「普段からこのくらい頑張つてほしい」などのコメントが多くありました。

この取組では、目標達成のためにやりたいことを我慢し、時間を意識して行動するための強い意志が必要になります。この取組をきっかけに、普段から少しでもMD&SUを意識して生活してほしいです。

職場体験学習

6月21日（火）～24日（金）の4日間、2年生が町内18の事業所で職場体験学習を行いました。この学習を「新たな自分を発見する場」「社会人として必要な力を体得

する場」「地域の理解と活性化を図る場」と捉え、体験中は「あいさつ・笑顔・リアクション」の3つを常に心がけて行動するように指導しました。生徒たちは緊張しながらも仕事の大変さ、やりがい、喜びなどを感じていました。また、各事業所の方にインタビューもさせていただき、働く方の思いを知ったり進路選択を控えた中学生へのアドバイスを聞いたりして、今後の進路学習にも生かすことのできる活動となりました。生徒たちは、体験だけで終わらず、学んだことを日常生活に生かしていこうと決意していました。体験させていただいた各事業所、また、生徒は体験しなかったものの受け入れを承諾していただいた各事業所の皆様、本当にありがとうございました。



▲内航船での接客

本年度の校内研究

本校では、生徒の学力面において「基礎・基本の定着を図る」として「生徒が意欲的に学習に取り組む」ことを目指して、全教職員が指導・支援を行っています。具体的には、次の2点について取り組んでいます。



▲レジでの接客



▲保育園での読み聞かせ

●この授業でどんな力を身につけるのか「めあて」を明確に示する。
●課題に対して生徒たちが生き生きと授業に取り組めるように、自分の考えを持つ（ソロ）、それぞれの考えを話し合い考えを深める（コミュ）、それで学んだことで自分の考えを修正する（ソロ）という「ソロ→コミュ→ソロ」の学習形態を展開する。

昨年度末の生徒アンケートでは、「基礎・基本が身につくように、ていねいな授業が行われている」「授業では、自分の考えを持ち、そのことを伝えたり学び合ったりして、自分の考えや理解を深める機会がある」「先生は教え方をいろいろ工夫しながら授業を進めている」などの設問に、ほとんどの生徒が肯定的な回答をしていました。

今年度も毎学期、学校生活アンケートを実施し、実践が有効であったかを検証し、課題が克服できるよう、また一人ひとりの「わかりたい」という思いに応えるために授業改善に取り組んでいます。その一環として、教育委員会の澤指導主事に定期的に来校して授業を見ていただき、指導・助言をいただいています。

学力定着のためには家庭学習が欠かせません。ご家庭でも家庭学習習慣や望ましい生活習慣づくりに向けて、引き続きご協力いただきますようお願いいたします。